

JA北九の「今」を届ける広報誌

JAだより

またまきゅう

つなぐ、はぐくむ、あなたの未来へ。JA北九

2025
3

Vol.185

3月の訪問日

🌸 25 (火)

🌸 26 (水)

🌸 27 (木)



若松潮風[®]キャベツのPR動画、
ぜひ、ご覧ください！



JA北九ホームページ
から視聴できます

02 農の匠 ▶ 田中 いづみ さん (若松そさい部会キャベツ班) 若松区

10 特集 ▶ 若松潮風[®]キャベツの軌跡

農業者の所得増大にむけて

農業生産の拡大にむけて

地域の活性化にむけて



contents

- 02 農の匠
田中 いづみさん(若松区)
- 04 営農情報 随時更新中!
女性部・青年部の活動報告
- 05 フォトスケッチ
赤シソ部会生産計画検討会 など
- 06 北九トピックス
くきのうみ小学校 ダイコン収穫体験・交流会 など
- 08 経済部だより
- 09 声をつなぐ!! TAC通信
- 10 特集
若松潮風®キャベツの軌跡
- 12 夫婦二人三脚
薬菜クッキング
- 13 スマイルキッズ・理事会だより
暮らしに1粒 豆知識
- 14 JA北九からのお知らせ
- 15 おたよりコーナー・訃報・やすらぎ会館PR
クロスワードパズル
- 16 2026年度 JA北九職員採用募集

Master of agriculture
農の匠

田中 たなか
いづみさん(56) (若松そさい部会キャベツ班) 若松区



産地づくり
次世代へ繋げるための

若松野菜をPRする取り組み

若松区の特産品「若松潮風®キャベツ」を生産している田中いづみさん。30代のときに親元就農し現在、冬は若松潮風®キャベツをはじめハクサイ、ダイコン、ブロッコリー、夏はキュウリ、トマト、スイカ、米を栽培しています。農業のほか、そさい部会の若菜会にも加入しており、若松野菜を使った加工品の製造・販売やレシビ集づくり、イベント時の試食宣伝などをおこない積極的に若松野菜のPRに取り組んでいます。



若松そさい部会若菜会の部員たちと話し合いながらPR活動をすすめています。

産地全体で力を合わせて

若松区は日本海に面したキャベツの産地として珍しいため、若松そさい部会キャベツ班では毎年、栽培環境や天候、収量、作付け時期、栽培のしやすさなどを考え品種の研究をおこなっています。さらに栽培方法や管理方法を部会班全体で統一し、高品質な若松潮風®キャベツを生産し続けています。「班全体で工夫をしていますが、夏の定植時は高温気候の影響で灌水対策が追い付かないなど自然を相手にしている分、苦労もあります」と話します。

「今年度から若松潮風®キャベツの出荷用段ボールが一新されました。北九州市内はもちろん福岡県内での消費量と認知度がさらに上がると嬉しいですね。九州で一番を狙っていきたくいです」と今後の動きに胸を膨らませます。



今年度から一新された段ボール

安心して農業ができる基盤づくり

通年で多くの品目を栽培している田中さんは、「SNSで珍しい野菜を見たら作りたくなる」というほど、様々な品種に挑戦することが楽しくエネルギーになっていくと話します。現在3人の息子さんとは離れて暮らし、日々の業務はほとんど一人でこなしています。「将来を見据えて代々受け継いだ事業を次世代に、と思います。が、小規模の農家だと農業だけで生きていくのも難しい現状です。ブランドの認知度を向上させること、高単価なキャベツを出荷し産地を守ることが次世代のために私たちができることだと思っています」と産地に対する想いを語っていただきました。

JA北九 公式アカウント

生産者向け LINE



「JA北九 TAC通信」では、さまざまな営農経済情報を配信していきます。



旬な情報をお届けします!

Instagram



フォトスケッチ PHOTO SKETCH

JA北九で行われた活動を写真でプチ報告

1/16 イチジク冬季管理講習会



いちじく部会は冬季管理講習会を開催しました。講習会は部会員の園地を巡回し、部会員同士で樹勢の状態を確認。樹勢に応じた施肥や凍害を起ささないための防寒対策について話し合いました。今後も収穫に向けて栽培講習会を開くなど、管理を徹底していきます。



1/21 「高倉びわ」生産塾



高倉びわ活性化協議会（JA北九びわ部会、岡垣町、北九州普及指導センター、JA北九で構成）は、「高倉びわ」生産塾を開催しました。5回目となる今回は、びわ部会部会員が中心となり、実践的な指導を行いました。受講生らは、枝の誘引や堆肥の施用などの作業を通じて、より効果的な栽培管理の方法を学びながら、各自の管理する樹の手入れを行いました。



1/18 市民農園栽培講習会



西部営農経済センターは、市民農園利用者を対象に栽培講習会を開催しました。栽培技術の向上を目指し、農業の安全性と正しい使い方を中心に作物を育てるうえで必要な基本知識などを学びました。



1/27～ 水稲講習会



1月下旬から管内各地区で、水稲講習会を実施しました。令和6年度産早期から普通期水稲の生育概況、いもち病やウンカ類・イネカメムシなどの発生状況を踏まえながら、稲作暦をもとに管理作業行程や資材について確認し、2月中旬までに管内のすべての地区で開催しました。



1/30 赤シソ部会生産計画検討会



赤シソ部会は生産計画検討会を開催しました。令和7年度産の作付け面積や播種時期、加工品などへの出荷について協議を行いました。



1/30 准組合員のつどい



JA北九は、准組合員のつどいを開催しました。今回は、本店にて販売直売部門の職員よりJA北九の事業について紹介。その後、管内の特産品を使用したサラダやスープの試食会や意見交換会を開きました。参加者からは、情報発信の強化などの要望が上がりました。准組合員のJA事業・運営への理解を深めるとともに、今後も必要とされるJAとして、准組合員の意見・要望を経営に反映させていくことを目的に開催していきます。



1/30 赤とんぼ米研究会総会



赤とんぼ米研究会は赤とんぼ米「コシヒカリ」の総会を開催しました。令和6年度の活動実績及び収支決算報告、令和7年度の活動計画及び予算案、新役員の承認などの4議案全てが可決されました。令和6年度は、生育期の猛暑などにより、収量・品質面で大きく影響を受け、グリーンコープ生協との契約数量は未達となりましたが、令和7年度は、契約数量の達成と1、2等米数量の増加。そして、安全・安心な米消費拡大に努めていきます。



営農情報 随時更新中!

JA北九のホームページでは営農情報を掲載しています。水稲管理情報や病害虫情報などをパソコンやスマートフォンなどでご確認ください！

スマートフォン等のカメラで右の画像を読み込むと、JA北九のホームページを閲覧できます。
※携帯電話の機種等により、別途QRコードを読み込むためのアプリのダウンロードが必要な場合がございます。

JA北九ホームページ 営農情報
URL: <https://www.ja-kitakyu.or.jp/service/einou/>



※今月のJAさんは休載です。

女性部と青年部の活動報告



1月22日 令和6年度 JA 九青協農業経営対策研修会



令和6年度JA九青協農業経営対策研修会が、福岡国際会議場で開催され、JA北九から8名の盟友が出席しました。先進的な農業経営にかかる情報提供を行い、農家所得の向上を図るため毎年開催されており、グループディスカッションや他県の青年部盟友と意見交換するなど充実した研修会となりました。

1月30日 西部地区 家の光記事活用 「JA 女性手帳カバー」作り



西部地区家の光記事活用グループは、2025年1月号の「家の光」に掲載されたJA女性手帳カバー作りを実施しました。針や糸を使わず、両面テープを活用することで簡単に作れましたが、布を規定のサイズに切る作業が少し難しく、手間取る場面もありました。しかし、努力の甲斐あって、完成したカバーは2025年版のJA女性手帳にぴったりフィットし、これからのスケジュール管理が一層楽しく、便利になりそうです。



1月21日 岡垣支店 「フラワーブーケ」作り



岡垣支店女性部は、文化祭への出展に向けて「フラワーブーケ」作りを開催しました。このイベントには19名の参加者が集まり、はじめは手順に戸惑いながらも、次第に慣れていき、参加者からは「楽しかった」「また挑戦したい」といった声が上がっていました。予想以上に時間がかかり、ブーケ作りの仕上げは2月に延期となりましたが、参加者一人ひとりが新たなスキルを習得し、充実感を得られたと感じています。

1月30日 曽根支店 「花てまり」作り



曽根支店女性部は、文化祭の出展に向けて「花てまり」作りを開催し、25名が参加しました。グルーガンで花同士をつけていく作業やなかなか丸くならない部分に苦労していましたが、花の置き方によって雰囲気が違ってまりが出来上がり、「やっぱり自分で作ったものはかわいい」と喜びの声が上がりました。





底井野小学校



本店



北九州市役所



若松野菜集出荷場

初荷式

1月4日、若松そさい部会は若松野菜集出荷場で初荷式を開催し、部会員や関係者らが出席しました。

令和7年初出荷の若松地区の特産品である「若松潮風®キャベツ」やプロッコリーなど約20トンを積んだ、「初荷」の横断幕を掲げたトラックを、部会員らが大きな拍手と笑顔で見送りました。今年度、同部会では出荷用段ボールのデザインを一新。さらに「若松潮風®キャベツ」の視覚的なPR活動の強化として、SNS世代の消費者に向けたPR動画を制作し、ブランド力の向上に努めています。今後も部会員一丸となり、地域特産品の魅力を、世代を超えて広く発信し、消費者に愛されるブランドを作り上げていきます。

新年祈願祭・北九州市長表敬訪問

1月6日、杉守神社で新年祈願祭が執り行われ、常勤役員、各事業の部長らが参列しました。森克己代表理事組合長が玉串奉奠を行い、農業とJA事業の発展、役員員の安全を祈願しました。

1月8日には常勤役員らが、北九州市役所や北九州普及指導センターなど管内の行政機関を訪問し、年始の挨拶を行いました。北九州市役所訪問では、今年度新たにブランド化した大葉春菊「うまからーま®」や若松区の特産品「若松潮風®キャベツ」など市内各産地での取り組みや出荷状況について北九州市長らと意見を交わしました。今年も行政や各関係機関と連携し、農業と地域活性化に向けて事業運営を行います。

JA北九青年部と常勤理事との意見交換会

1月9日、本店で青年部と常勤理事との意見交換会を開催しました。青年部遠賀中間支部・西部支部・東部支部の3支部から役員を中心に盟友が出席しました。

青年部がJAに対する意見や要望を常勤理事へ直接伝え、今後の組織活動やJA運営に反映させることを目的に毎年開催しています。意見交換会では、事前に青年部盟友から取りまとめた意見要望に対して、常勤理事および各部門部長らが現状報告を交えながら今後の取り組みについて説明しました。青年部ならではの目線で意見要望をもらえ、貴重な意見交換会となり、今後のJA運営に反映出来るよう取り組んでいきます。

底井野小学校餅つき

1月10日、地元生産者と中間市役所は、中間市立底井野小学校で餅つきを開催し、全校生徒が参加しました。5年生が6月の田植え体験で植え、10月の稲刈り体験で収穫したもち米を使って行われました。

児童たちは順番に杵を持ち、農家の人からコツを教わりながら餅をつきました。力を合わせて餅をつくる体験に、児童たちは大変楽しんでいました。出来上がった餅は、きな粉をつけて食べ、自分たちで作った餅を堪能していました。新型コロナウイルス感染症拡大以前は毎年行われていましたが、ここ数年は開催できず、今回は約5年ぶりに行われ、地元農家と児童たちの交流の場となりました。

北九トピックス

JA北九での行事や活動をご紹介します

「博多蕾菜」出荷目合わせ会

1月17日、「博多蕾菜」の生産者らは糠塚集出荷場で「博多蕾菜」の出荷目合わせ会を開催しました。

当日出荷された「博多蕾菜」を規格別に並べて、葉の開きや色合い、調整具合など、パック詰めされた「博多蕾菜」の出荷規格を確認しました。品質の良い「博多蕾菜」の出荷に向けて、実際に手に取りながら生産者同士でパック詰めの手順や見映え、生育状況などについて意見を交わす姿が見られました。

今年度産は、11月上旬の大雨による根傷みの影響で、収量不足が心配されたものの、1月6日に初出荷を迎え、例年よりも少し早めのスタートとなりました。出荷は3月頃まで続く見込みで、春商材として福岡県内や関東の市場へ出荷します。

くきのうみ小学校ダイコン収穫体験・交流会

1月24日、北九州市学校給食協会は、くきのうみ小学校5年生児童を対象に収穫体験および交流会を開催しました。JA北九からは、若松そさい部会の松浦剛さんと営農職員が参加しました。

小学生と地元農産物の生産者が直接触れ合うことで、農業への理解を深めることを目的に行われ、ダイコンの収穫体験や農業について学ぶ授業が行われました。収穫体験では、収穫の過程で、時間をかけて、大きいダイコンを探す児童の姿が印象的でした。収穫体験後は、学校に戻り、松浦さんが年間を通じて栽培する野菜の紹介を行い、農業の厳しさや大変さについて説明しました。児童は積極的に質問し、ノートを取りながら熱心に学んでいました。給食を交えた交流会では、児童と一緒に給食を食べながら交流を深め、交流会後のあいさつで、松浦さんは今回の体験を機に、住んでいる地域の農業に少しでも興味を持ってもらいたいと話しました。

若松潮風フェアミニ

1月25日、JA北九は地元特産物を知ってもらい、多くの方々に味わってもらおうと北九州市若松区で「若松潮風フェアミニ」を開催しました。

かつばの里若松店で、今が旬の若松農産物を取り揃え、特別価格で販売しました。店舗前にはキッチンカーや屋台も出店し、JAからは試食コーナーを設け、地元特産品を楽しんで頂けるような機会を提供しました。

潮風に常にかけて育った「若松潮風®キャベツ」は、生で食べても甘いですが、加熱することでさらに甘みが引き立ち、より一層おいしくなるのが特徴で、どちらも味わってもらえるようにスープと地元の食品企業とコラボして作った専用ドレッシングを使用したサラダを提供しました。今後もメディアやイベント参加などを通じて「若松潮風®キャベツ」の認知度向上に取り組んでいきます。

JAグループ農産物鑑定会福岡県大会 最優秀受賞

1月28日、福岡県JA農産物検査協議会主催の第22回JAグループ農産物鑑定会福岡県大会が開催されました。JA北九からは1名が参加、見事入賞しました。

県内の各JAから20人が出場。水稲うるち玄米、水稲もち玄米の試料の等級を鑑定する、速さと正確性を競い合いました。JA北九から参加した東部営農経済センターの吉村滉太郎職員が最優秀賞に輝きました。吉村職員は県代表として、3月12日に千葉県で開催されるJAグループ全国農産物鑑定会に出場予定で、「全国農産物鑑定会でも最優秀賞を目指します」と意気込みを語りました。



本店

玄米の試料



かつばの里若松店



くきのうみ小学校

ダイコン収穫体験



糠塚集出荷場



令和7年4月より 「ふくれんジュース及び豆乳シリーズ」 新商品発売のお知らせ

組合員の皆様にはJA北九をいつもご利用頂きありがとうございます。
見出しにあります通り、JAの購買店舗や直売所で取り扱っております「ふくれんジュース及び豆乳シリーズ」
につきまして、**令和7年4月より発売**させていただきます。

◆ 新商品

| 品名 | R7.4月～ |
|----------------------------------|------------|
| 福岡育ち果実サイダー 博多あまおう (190ml×20缶) | 1,900円(税込) |
| 福岡育ち果実サイダー すもも (190ml×20缶) | 1,800円(税込) |
| 福岡育ち果実サイダー キウイ (190ml×20缶) | 1,800円(税込) |

◆ ふくれん「豆乳」シリーズ

| 品名 | R7.4月～ |
|-------------------------|------------|
| 豆乳飲料 すもも (200ml×24本) | 2,160円(税込) |
| 豆乳飲料 きなこ (200ml×24本) | 2,160円(税込) |

ふくれんのジュースは、日頃より多くの方に大変ご好評いただいております。
また、お中元、お歳暮の時期にはご贈答用としてもご利用いただいております。
安心安全の国産、九州産、福岡県産の果実・野菜を使用したこだわりの「ふくれんジュース及び豆乳シリーズ」を是非一度ご賞味ください。

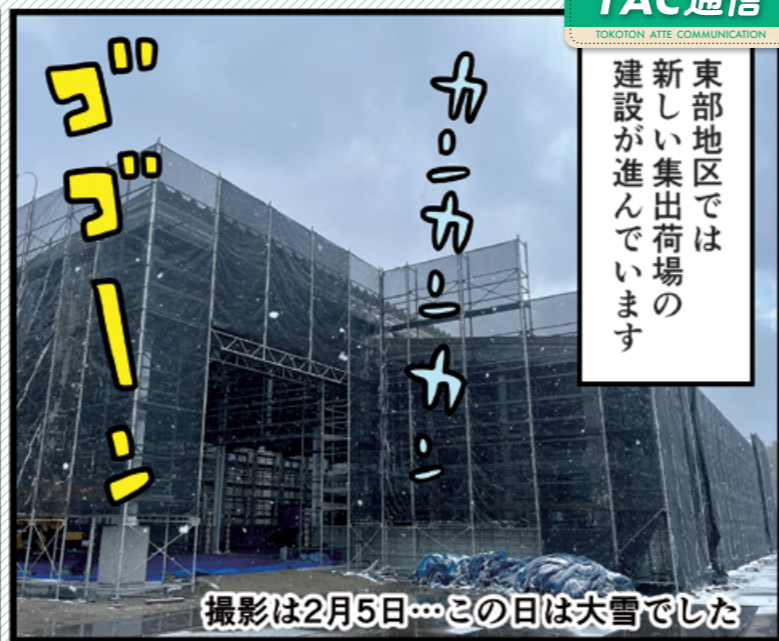


棚卸にかかる購買店舗と農機センターの休業について

| | |
|--|------------------------------------|
| 若松購買店舗 八幡購買店舗 遠賀購買店舗 曾根購買店舗 西中購買店舗 遠賀農機センター | 3月31日(月) 休業 4月1日(火) 午後から営業致します。 |
| 門司購買店舗 | 3月31日(月) は休業となります。 4月1日(火) |

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

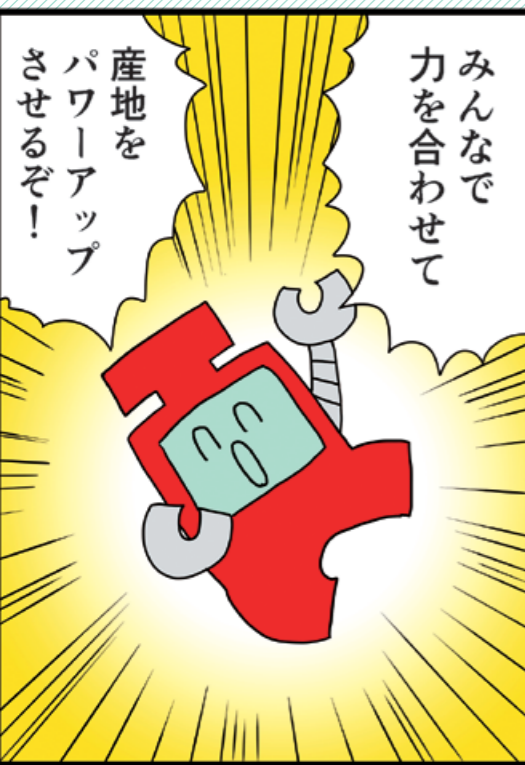
声をつなく!!
TAC通信
TOKOTON AITE COMMUNICATION



- 反当たり販売高の向上
- 費用対効果の発揮
- 流通コストを低減
- ブランド野菜を強化
- 重点品目を振興
- 輸出の取組

この建設は国の補助事業※を活用しており
産地をパワーアップさせる為の6つの目標が設定されています

完成がゴールではありません
いかに産地を盛り上げるか...今からがスタートなのです



目標達成に向け座談会を開き話し合いを繰り返します
規模拡大の支援が必要? 事業承継のサポート体制? 新規就農者の育成? 行政との連携強化が必要では?
共販出荷の仲間を増やす? どうやって?
次世代に産地を引き継ぐために
みんなで力を合わせて

JA北九 西中支店

※産地生産基盤パワーアップ事業

若松潮風[®] キャベツの軌跡

北九州市のなかでも多くのブランド農産物を出荷している若松区。出荷される農産物はどれをとっても品質が高く、市場から高い評価をいただいています。特にキャベツは西日本有数の産地であり、「若松潮風[®] キャベツ」としてブランド化に取り組んできました。今回は若松そさい部会キャベツ班の新たな取り組みと目標について紹介します。

若松区がキャベツ産地になったきっかけ

元々、若松区では明治時代、白菜がメインで栽培されていましたが、昭和30年代当時、台風が多く直撃したため塩害対策としてキャベツが推奨されたのがきっかけと言われています。日本の屈指の漁場である玄界灘に面し、現在でも大陸からの潮風が吹き込み、場合によっては、キャベツを枯らしてしまうことでもあります。同班では毎年、栽培環境に適した品種を研究し栽培しています。

ブランド化で産地を確立

若松そさい部会キャベツ班がブランドをつくるきっかけとなったのは十数年前、当時、キャベツの需給バランスの崩れなどが理由で生産者数、生産面積

の減少傾向の動きがありました。そこでキャベツ班の仲間たちとJA職員らは、競争力のあるキャベツ産地の確立を目指し、販売力強化にも繋がるブランドを立ち上げ、新規取引先開拓、販促イベントの開催など、様々な取り組みを行ってきました。

商標登録10周年 新たなデザインで挑戦

ブランドが確立して以降、一般消費者をはじめ行政にも宣伝ができるように各種パンフレットを作成したり、忙しい主婦も簡単に調理でき美味しく食べってもらうことを考え同部会の若菜会がレシピ集を作成したりなど、これまでに多種多様な宣伝物を作成してきました。

そして今回は更なる販路拡大を狙い、ロゴマークと段ボールを刷新しPR動

JA北九のHPからご覧いただけます



▼JA北九のHP



若松出身 古田 彩仁 (オフィスノアール所属モデル)



若松そさい部会キャベツ班 班長 藤田雄一郎さん

産地の魅力を活かした資材

PR動画の制作は昨年の1月頃、できあがるまでに約1年かかりました。その間、ロゴマークや段ボールの刷新なども行い、全て完成するまで生産者や制作会社の方とは何十回も話し合いを重ね作り上げてきました。私たちも一緒に作ったロゴマークやPR動画は、潮風を入れ産地の魅力を活かしています。パッと見ただけで若松区のキャベツと分かるように仕掛けることができて良かったです。



ドローンを操縦し撮影する 藤田さん



若松そさい部会キャベツ班 松浦 剛さん

PR動画にかける想い

若松区の夏野菜は、比較的ブランド化を成功させ利益が出る農業を実践できていることに對し、冬野菜の需要が低迷しています。そこで冬の若松野菜を盛り上げるべく、その代表格である若松潮風[®] キャベツのイメージを映像で伝えるPR動画の制作に着手し、より消費者と生産者の距離を縮める試みを行ってきました。

たくさんアイディアを制作会社に伝えるのも大変でしたが、全員が満足のいくPR動画を制作できました。



PR動画の制作会議



若松そさい部会キャベツ班 田中 悠介さん

今後も情報発信を続けていきます！

現在の取り組みとしてはPR動画をたくさんの方が視聴できるように、映像を流せる場所を増やしています。今回のPR動画の制作で宣伝方法について学ぶことができたので、生産者自身も作るのももちろん宣伝し続けることが必要だと改めて理解できました。同班が運用するインスタグラムなどで随時、情報発信を継続していこうと計画も立てています。

Instagramのフォローをお願いします



@WAKAMATSU_SHIOKAZE



キューブネット (左) 金子 育子さん (右) 金子 健さん

生産者の想いを具現化したPR動画

私たちは「若松潮風[®] キャベツ」のブランド立ち上げに携わり、その成長を見守ってきました。農業を取り巻く環境は厳しいですが、ブランド化を成功させることで、生産者の想いが伝わり、安定した販路の確保や地域の活性化につながると考えています。

今回のPR動画では、生産者の想いを大切に、潮風を浴び、愛情をたっぷり受けて育ったキャベツの魅力を伝える映像に仕上げました。「若松潮風[®]」のブランドが定着し、認知度が高まるよう、今後も若松野菜の発展に貢献していきます。



キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

キャベツの映像制作の様子

理事会だより

第10回 定例理事会

日時 令和6年1月29日(水) 15:30~
場所 ホテルクラウンパレス北九州
全議案が可決、承認されました。

議案

- 1 信用の供与について
 - ① 曽根支店 固定変動型事業資金
- 2 「貸出金の資金種類要項(JA独自資金)」の一部改正及び「貸出金基準金利表」の一部変更について
- 3 令和6年度不明組合員の資格喪失について
- 4 令和7年度役員選任手順について
- 5 令和7年度役員報酬審議会委員について
- 6 令和8年度正職員の採用方針について
- 7 個人情報取扱規程及び特定個人情報取扱規程の一部改正について
- 8 金融商品の勧誘方針の一部改正について

報告事項

- 1 令和6年度12月末主要事業実績について
- 2 令和6年度12月末短期損益について
- 3 2月行事予定について
- 4 令和6年度12月末組合員出資金の異動状況について
- 5 令和6年度12月末員外利用の状況について
- 6 令和6年度第4四半期ALM委員会における協議・決定事項について
- 7 手形・小切手の全面電子化に向けた取組みについて
- 8 令和6年度第3四半期反社会的勢力等対応に関する定期報告について
- 9 JA北九CERC施設整備について(JA全農コンサル最終報告について)
- 10 その他



たいき 長男 **泰暉** くん(2歳)
ゆづき 長女 **結月** ちゃん(1歳)

お父さん・お母さん
ひらかわ 平川 直樹 さん
なおき 紀和 さん

父母からのコメント
生まれてきてくれてありがとう。
楽しく大きく元気に育ってね。

夫婦二人脚

水巻支店管内

つだ 津田 敏文 さん(75)
のりこ 則子 さん(68)



親戚の勧めでお見合いをし、ご結婚されたお二人。結婚してから今年で39年目を迎えます。お二人は、日々の暮らしや地域において活発に活動しています。敏文さんは、立屋敷地区環境保全会の代表を務め、地域の環境問題に積極的に取り組んでいます。農業の高齢化や担い手不足が進行する中で、農地や農業用水の管理が困難になっている現状を踏まえ、持続可能な地域活動を支援しています。

また、家庭では水巻町の特産品である「でかんにんく」を栽培しており、直売所「やさしい畑おんが店・みずまき店」、「かつぱの里若松店」などで販売されています。出荷は6月から7月にかけて始まります。

則子さんは、地元の水巻支店女性部の支部長として、毎月活動を行っており、支部のメンバーと共に女性部活動に取り組んでいます。「支部のメンバーが協力的でとても助かっています」と話してくれました。また、家庭においては「薪ストーブ」にこだわりを持っており、冬の寒さをエアコン無しで過ごすために、薪を一から集めています。散歩をしながら自然の中で良質な薪になる枝を見つけたのが楽しみであり、また、薪ストーブの火を見ていると心が落ち着き、温かさだけでなく精神的にも癒されるそうです。ご夫婦の、地域に積極的に貢献しながら、共に歩んできた39年間の歩みを感じられました。



薪ストーブ



女性部活動で作った寄せ植え



お買求めください!



収穫したでかんにんく

親戚の勧めでお見合いをし、ご結婚されたお二人。結婚してから今年で39年目を迎えます。お二人は、日々の暮らしや地域において活発に活動しています。敏文さんは、立屋敷地区環境保全会の代表を務め、地域の環境問題に積極的に取り組んでいます。農業の高齢化や担い手不足が進行する中で、農地や農業用水の管理が困難になっている現状を踏まえ、持続可能な地域活動を支援しています。

暮らしに1粒の豆知識



必要な食品だけを買う、食べ残しをしないなど心がけていきましょう

2024年の夏は暑かったですね。23年の夏も暑く、長野県で米や野菜を作っている筆者の義父母は「暑過ぎてサトイモが小さくなっちゃった」と嘆いていました。

欧州連合(EU)の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」は、24年の世界平均気温が23年を上回り、過去最高になる見通しだと24年10月に発表しました。

過剰な暑さは農産物の生育に影響を及ぼします。23年産の新潟県産「コシヒカリ」は胚乳の一部もしくは全部が白く濁る「白未熟粒」が増え、等級が落ちました。海水温が高く魚が死んでしまう現象も起きました。この暑さの要因が「食品ロス」だと言ったら、意外に思うのではないのでしょうか。

食品ロスを減らして温室効果ガスも削減

合計すると、この二つの国に続く第3位の温室効果ガス排出量となるのです。

農業や食品産業など、世界の食料システムから排出される温室効果ガスは全体の30%以上に及びます。世界200人近くの研究者が関わった「ロータウダウンプロジェクト」は、地球温暖化を逆転させるベスト100の方法が検証されました。二酸化炭素の削減量や費用対効果などで順位付けしたところ、100位中、3位になったのが「食品ロス削減」でした。26位の「電気自動車」や43位の「飛行機の燃費向上」より、食品ロス削減の方が順位が高かったのです。それくらい、気候変動と食品ロスは大きく関連しています。

3月23日は世界気象デー。24年のテーマは「気候変動対策の最前線」でした。農畜水産物の生育を健全に保ち、自然災害を少しでも減らすために、食べられるのに捨てられる食品ロスをなくしていきましょう。

楽菜 手軽に作れる cooking

やわらかなキャベツとミルクが好相性

春キャベツとツナのクリームパスタ



- 1 鍋に湯約2ℓをわかして塩大さじ1・1/2を入れ、スパゲティをゆで始めます。キャベツはざく切りにします。
- 2 ①をボウルに入れて混ぜ、牛乳を少しずつ加えて溶きのばします。
- 3 スパゲティがゆで上がる2分30秒前にキャベツを入れて一緒にゆでます。ゆで汁を少し取りおき、ざるにあげます。
- 4 ②とツナ、③を鍋に戻し入れて混ぜます。ゆで汁を加えながら混ぜ、塩で味をととのえます。器に盛って細ねぎを散らし、好みでこしょうをふって出来上がり。

材料(4人分)

- スパゲティ …… 350g (A)
キャベツ …… 5枚
ツナ(缶詰) …… 大1個(160g)
牛乳 …… 400ml
細ねぎ(小口切り) …… 少量
塩・こしょう …… 適宜
- (A) 薄力粉 …… 大さじ2
粉チーズ …… 大さじ4
マスタード …… 大さじ2
顆粒スープの素(洋風) …… 小さじ2/3



JA で年金を お受け取りの皆様へ

年金振込をご指定の方々への特典

年金受給者の同居のご家族様を対象に葬儀や法要に係るサービス・特典がご利用いただけます。

葬儀にかかる費用 + 葬儀及び法要に伴う仕出し料理 ▶ **5% OFF**

※年金友の会(年金受給者)以外の方は「やすらぎ会員(特典付き定期積金・定期貯金)」へ加入されますと同様の特典・サービスが受けられます。

組合員特典

祭壇・お棺・お骨壺・霊柩車20%程度割引など

※この他に、様々な特典やサービスがございます。

当JA組合員は、**組合員特典+年金友の会割引が、お得です。**

JA 北九やすらぎ会館

海老津斎場 水巻斎場 遠賀駅前斎場
フリーダイヤル 0120(282)505 0120(202)699 0120(293)404
若松斎場 小倉斎場 八幡斎場
フリーダイヤル 0120(791)303 0120(422)731 0120(619)570
http://www.ja-kitakyu.or.jp/

JAの取り組み内容、地域活動がよく伝わってきます。これからも北九州の野菜をどんどん紹介してください。
(八幡西区 K・Kさん)

久しぶりに手にしましたが、すぐに楽しく読ませていただきました。皆様の活躍ぶりが伝わってきました。おいしい野菜や果物がたくさん食べられ、しあわせな限りです。
(若松区 W・Fさん)

若松潮風フェアミニを訪れた時にいただいた若松潮風®キャベツを使ったキャベツスープが絶品でした！スーパーなどで見られた際にはぜひお買い求めください！

おたよりコーナー

いつも広報誌のクロスワードパズルを楽しんでおります。また、おたよりコーナーを読むのも好きです。紙面の都合もあると思いますが多数の方のおたよりも見たいです。
(東京都 K・Tさん)

私もおたよりコーナーの返事を書くのが楽しみです！これからたくさんのおたよりお待ちしております。

カートをおして、大地の恵み西中店に買い物に行っています。ありがたく感謝しております。
(小倉南区 T・Kさん)

いつも大地の恵み西中店で買い物をいただきありがとうございます。車の出入りが多いので今後も来られる際は、気を付けてお越しくさいます。

訃報

令和7年1月の葬儀のうち、喪主の方の承認をいただいた故人名を掲載しております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます

| | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 瓜生 三枝 様 | 遠賀町浅木 | 山本 満 様 | 若松区大字頼田 |
| 古野 克憲 様 | 遠賀町虫生津 | 伊藤カズエ 様 | 八幡西区野面 |
| 矢野千津子 様 | 遠賀町大字島津 | 中尾力ヨ子 様 | 小倉南区蛸田若園 |
| 古畑 貴英 様 | 遠賀町尾崎 | 花生美智子 様 | 小倉南区大字呼野 |
| 安部 正開 様 | 岡垣町戸切 | 古屋敷クミコ 様 | 小倉南区合馬 |
| 大田 喜國 様 | 水巻町杵 | | |

クロスワードパズル

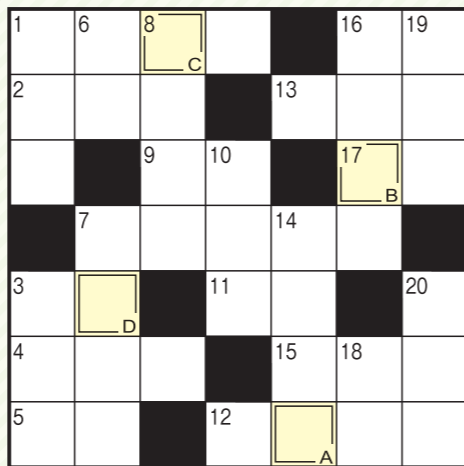
二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

ヨコのカギ

- 3月14日は——デー。バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- お手洗いと申します
- バレーボールのセッターが上げるもの
- 梅は咲いたか、——はまだかいな
- 日本一長いものは367kmあります
- イソップ—— 源氏——
- 失敗は成功の——
- 水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- 羽ばたいて飛べるほ乳類
- 漢字では「梭子魚」などと書く魚
- 草餅によく使われる植物
- お彼岸に参る人も多いところ
- 弾力がある、噛んで食べる菓子

タテのカギ

- 造って魂入れず
- ニワトリの頭に付いています
- エックスの次です
- 赤の広場やクレムリンがあります
- 卒業証書の——は筒よりファイルが主流になりました
- 脚本に書かれているセリフ以外の文章
- 地球を暖める天体
- ひな祭りのお吸い物につきものの貝
- ひな祭りに飾る花
- 春の景色がぼんやりとして見える原因
- 細川たかしのヒット曲「——の渡し」



答え A B C D

クイズ応募者の中から抽選で3名様にプレゼント!

読者プレゼント

直売所、購買店舗でも使える「農協全国商品券」1000円分

当選者

松丸 信男 様
浜崎 久子 様
松崎紀代子 様

プレゼント応募・お便り投稿方法

- 住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号
- クイズの答え⑥「きたきゅう」に対するご意見ご感想を必ずご記入の上、次の宛先までご応募ください。

ハガキ 〒807-1263 北九州市八幡西区金剛2丁目3-3 JAだより「きたきゅう」読者のページ係

FAX 619-2381

メール kouhou@ja-kitakyu.or.jp

※個人情報、賞品の発送のみに使用します。
※お便りは割愛または補正させていただくことがあります。

応募締切

3月21日(金)
(消印有効)

編集後記

この広報誌が皆様の手元に届く頃には北九州マラソンは終わっていますが、現在、完走に向けて練習中です。次の広報誌編集後記で結果を報告致します。(後藤)

1月号の答え

ゲイシユン

3月の無料税務相談会

※ご相談希望の方は事前に電話でご予約ください

| 対象地区 | 日程 | 場所 | 相談時間 | 連絡先 |
|--------|----------|--------------------------|--------|-----------|
| 西部地区 | 3月7日(金) | 不動産センター (八幡西区穴生1-8-2) | 9時~12時 | ☎644-0233 |
| 遠賀中間地区 | 3月10日(月) | 遠賀支店 (遠賀町今古賀631-5) | 9時~15時 | ☎293-2500 |

JA北九からの お知らせ

JA北九 Instagram フォローお願いします



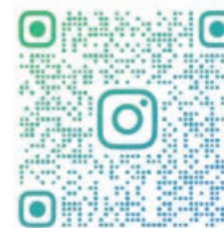
旬の情報をお届けします

フォロー

JA北九が投稿した内容を、組合員、利用者ご自身のInstagramのタイムライン上で確認できるようになること。

アカウント名

【公式】JA北九
ユーザーネーム: ja.kitakyu



JA.KITAKYU

合馬たけのご贈答用

限定販売のお知らせ

産地直送、朝掘りの「合馬たけのこ」を3月から限定70箱発送の注文承ります。合馬たけのこの特徴である、心地よい歯触りとふくよかな芳香をお届けします。

受付期間

3月3日(月)~3月28日(金)

平日9:00~16:00

発送期間 3月~発送 価格 2kg箱 6,100円(送料・税込)

発送期間 4月~発送 価格 2kg箱 4,600円(送料・税込)

・発送は、ゆうパックでお届け、申込受付順にて行います。

・日にち及び時間指定は承れません。発送予定期間は、3月上旬~4月下旬。但し、天候/収穫状況等により発送予定日の変更される場合がございます。商品の性質上原則として返品はお受けできません、ご了承ください。

・お届け先の電話番号も必ずご連絡下さい、できるだけFAXでの申込みを(郵便番号・電話番号も必ず記載の上)よろしく願いいたします。

(注)数量限定のため、申込時期により受付が出来ない場合がございます。

お申込み・お問合せ 東部営農経済センター (西中営農)

〒803-0278 北九州市小倉南区徳吉西1-4-11
TEL 093-451-9210 FAX 093-451-1035
t-einou1@ja-kitakyu.or.jp



未来を拓け 変化に挑め。

詳しくはWEBで

2026年度 JA北九職員採用募集

JA北九 マイナビ 2026

職種

総合職

試験日程

応募期間:令和7年3月1日(土)~令和7年3月31日(月)必着
一次試験:令和7年4月18日(金) / 試験内容:学科試験・適性試験
二次試験:令和7年5月9日(金) / 試験内容:一次面接
三次試験:令和7年5月下旬 / 試験内容:最終面接

応募手続

- ①就職情報サイト「マイナビ2026」よりエントリー
 - ②エントリーシートの提出
- ※②についてはWEBエントリー可 詳しくはマイナビよりご確認ください。

問合せ先/応募先

〒807-1263 福岡県北九州市八幡西区金剛二丁目3番3号
/北九州農業協同組合 採用担当

TEL 093-619-2375

WEB <https://ja-kitakyu.or.jp>